

事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-72	講座名	社会と土木の「話の泉」
記載日		団体名・企業名	C E 技術の会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>2018年のC E 技術の会が開催した講座での受講者アンケートによると、関心のある環境分野として、「環境にやさしいまち」「エネルギー問題」が多く挙げられた。そこで、土木工学の幅広い技術分野を活かした講座とし、1回目は、他の水辺再生の事例を踏まえ、名古屋の水辺が使われる、楽しい水辺に変われるか、可能性を考えることをテーマに、2回目は、CO2排出削減に向け、持続可能な社会におけるエネルギー・資源の循環を下水道を例に考えることをテーマにして、講座の目的である参加者のスキルアップと技術向上に大いに役に立つと期待できる講座とした。また、その為に、今回は専門性を考えて大学研究者を講師に迎え、実務的研究成果の一端を分かりやすく紹介してもらうこととした。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
2019.11.27 秀島教授の話を楽しみ聞き入る受講生 於大須コミュニティセンター		2020.1.22 吉田准教授の話ぶりと真剣に聞く受講生 於 sugiura coffee	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>2019年後期の講座では、外部講師として大学の先生方をお願いして、日頃の研究活動の実務的成果をお話いただきました。1回目は「名古屋の水辺の可能性」と題して、国内外の事例を紹介して水辺の持つ魅力について話していただき、次いで名古屋における水辺空間の整備の方向性にスポットを当てて話して頂いた。とても分かりやすく、楽しく勉強できたと思います。2回目は「下水に潜在するエネルギー・資源の循環を目指して」と題して、下水処理と下水内の微生物の発電の仕組み、最近の下水処理方法とエネルギー生産技術について、とても平易に話して頂いた。いずれの講演もとても内容が濃く、受講者にとって充実した勉強ができて、スキルアップに繋がったと思います。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の話ありがとうございました。勉強になりました。 ・都市生活の内での川辺の位置づけが大切だと改めて思った。 ・下水処理における起電システムがよく分かった。 ・下水処理方法とエネルギー生産について、ビジネスモデルとしての有効性はどうかの話が欲しかった。 			